

飯山市教育懇談会（飯山小学校区）発言要旨

平成25年10月1日（火）飯山小学校

- ・先生方は忙しいとは思いますが、もっと地域に出て活動して欲しい。学校以外、地域に出ることで飯山らしい教育もしっかりできると思う。
- ・児童数が減少傾向にある。小学校の統合計画や適正規模の学校数・学級数に対する考え方は。
- ・少子化で遊び相手が近所に少なく、遠くの友達の家まで遊びに行っている。
- ・家での子どもの言葉遣いがとても悪い。
- ・全国学力テストの結果から「活用」部分が弱い。これをどのように高めるかが先生方の大きな課題。頑張ってください。
- ・小学校の自校給食は、手間暇・コストもかかるが、子ども達にとって質の高い給食を提供し素晴らしい。是非続けてほしい。
- ・平成31年の1年生が30人はとてもショッキング。きめ細やかな指導ができ良いこともあるが、お互いが切磋琢磨し良い意味での競争心を高め、将来社会に出た時に負けることなくやってける子どもを育てるのも大切。将来、飯山の子ども達が世界で活躍できる人材を育てていただきたい。
- ・全国学力テスト結果が全国平均を上回っているが、できる子と出来ない子の二極化について、原因分析と対応策はあるのか。
- ・飯山の子どもはとてものんびりしていると感じている。他の地域は親も子どもも教育に対し熱心で、家庭学習をたくさんしている。
- ・家庭の経済環境で学力に差がついてはいけない。学校の勉強をしっかりしていれば大学までいける教育を是非お願いしたい。学校でわかるまで勉強を見ていただきたい。夏休みには成績に応じて補習を行っている所もある。

- ・飯山市は外国人と接する機会が少ない。できれば授業以外にも文化交流ができればいいなと思う。
- ・新飯山高校の学力レベルを上げて、子どもに希望を与えられる教育をお願いしたい。
- ・道路が凸凹で危険なところもある。歩く人・自転車にも優しい道路を作って欲しい。
- ・先生方には、子ども達に興味をもたせ、楽しいと思わせる授業をお願いしたい。何のために勉強するのか意識が大事。同じ大学・企業にいても、自分が幸せと感じる人と感じない人がいる。自分が幸せだと感じられるよう、心の教育が大事。
- ・飯山を離れて初めてふるさとの良さに気づくと思う。子どものうちから飯山の良さを体感させたい。まず親が飯山に誇りや愛着を持つようにしたい。
- ・児童数の減少は深刻、人口が減少しないよう真剣に考えるべき。飯山が好きでも就職がないと外に出てしまう。飯山の中で新しい産業・仕事をつくり、飯山の中でお金が回るしくみを考える必要がある。
- ・飯山の子ども達はのんびりしている。学力を伸ばすために秋田県では放課後補習を行っている。他の情報を得るアンテナを高く張り、教育方針に活かしているのか。コミュニティ・スクールは「補習」に相当するのか。
- ・学力を伸ばすには、子ども達が楽しいと思える授業が一番。自分のために一生懸命な先生かどうかは、子ども達が肌で感じる。担任の質の向上をお願いしたい。今は安心しているが、クラス替えにより担任が変わるととても心配。
- ・教科担任制は、専門の先生で教え方が上手く、勉強が嫌いな子どもが「授業が楽しい」と言った。教科担任制は今より早くから導入しても良いのでは。